

我が国の音楽科教科書における題材構成に関する研究

—平成 17 年発行小学校教科書および平成 18 年発行中学校教科書の分析を通して—

石 津 誠

(本講座大学院博士課程前期在学)

Research on Theme Composition in Music Textbooks in Japan: Analysis of Elementary School Textbooks in 2005 and Junior High School Textbooks in 2006

Makoto ISHIZU

I はじめに

教育課程を編成する際には、目指すべき目標を設定し、その目標を達成するために必要な教材や経験のまとまりを作る。音楽科では、このようなまとまりは「題材」として扱われており、他教科の「単元」に当たるものである。「題材」の構成原理が各時の細かい教育内容を規定するため、題材構成は、教育課程を編成する上で、大きな指針となるものである。

文部省が発行した資料では、『小学校音楽指導書』(昭和 35 年)と『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』(昭和 55 年)の中に、「題材」に関する記述がみられる。『小学校音楽指導書』には、題材の取り方について、①楽曲(教材)による題材、②音楽的なまとまりによる題材、および③生活経験的なまとまりによる題材、の 3 点が示されている¹⁾。これらの題材の取り方のうち、「楽曲(教材)による題材」が最も普通に行われるものであり、「音楽的なまとまりによる題材」および「生活経験的なまとまりによる題材」は、各学期に 1 つ程度取り上げて配列するものであると示されている。

昭和 55 年の『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』では、題材の設定について、(1) 主題による題材、および (2) 楽曲による題材、の 2 点が挙げられている。

『小学校音楽指導書』の「主題による題材」は、「音楽的なまとまり」と「生活経験的なまとまり」を合わせて設定されたものであるとしている²⁾。「主題による題材」にはこの 2 つの性格が含まれていることを考えれば、『小学校音楽指導書』(昭和 35 年)の分類とはほぼ同一の分類をしているといえる。しかし、内容の系統性・発展性という観点から「主題による題材」が有効であることが示されている。昭和 35 年の指導書において、「楽曲による題材」が中心であったものから、昭和 55 年の指導資料において「主題による題材」が中心となったことから、題材構成観に大きな変化があったといえる。

では、現在の教科書では、「題材」はどのように扱われているのだろうか。本稿では、小学校および中学校を対象として、現在の音楽科教科書における題材構成を明らかにすることを目的とする。現在、音楽科教科書を発行している出版社は、小学校が教育芸術社・教育出版・東京書籍の 3 社であり、中学校が教育芸術社・教育出版の 2 社である。本稿では、小学校から中学校までを通して分析するため、教育芸術社と教育出版の 2 社の教科書および教師用指導書を取り上げる。

II 教育芸術社『小学生の音楽』『中学生の音楽』

本章では、教育芸術社が発行している『小学生の音楽』『中学生の音楽』を分析する。巻末の資料 1 は

¹⁾ 文部省編『小学校音楽指導書』教育出版社、昭和 35 年、p.9。

²⁾ 文部省編『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』教育芸術社、昭和 55 年、P.16。

『小学生の音楽』の題材について、資料2は『中学生の音楽』の題材について、全題材の題材名、題材の目標、教材、時間数をまとめたものである。なお鑑賞教材には、教材名の前に「◎」をつけた。以下の表1は、学年ごとに、題材数、平均時間数、平均教材数、1教材にかける時間数の平均を算出したものである。

表1 『小学生の音楽』『中学生の音楽』の題材に関する数値

学年		題材数	平均時間数	平均教材数	1教材にかける時間数
小学校	第1学年	7	9.71	4.29	2.27
	第2学年	7	10.00	4.43	2.26
	第3学年	7	8.57	4.00	2.14
	第4学年	7	8.57	4.29	2.00
	第5学年	7	7.14	3.86	1.85
	第6学年	7	7.14	3.57	2.00
中学校	第1学年	10	4.50	3.20	1.41
	第2学年	9	3.89	3.00	1.30
	第3学年	8	4.38	3.13	1.40

題材の平均時間数、平均教材数、1教材にかける時間数のいずれも、学年が上がるにつれて減少する傾向がみられる。すなわち学習のまとまりが小さくなっていることがわかる。それに対し、題材数は小学校に比べて中学校の方が多。中学校では小学校よりも幅広い内容を扱うことを意図していることがわかる。

題材名および題材の目標から、題材を構成しているまとまりをみると、小学校第1学年では「リズム」「拍」に関する題材が扱われている。第2学年でも同じく「リズム」「拍」の題材がみられる。第3学年では「リズム」の題材がなくなり、「旋律」の題材が現れる。第4学年では「旋律」の題材が最も多く3題材で扱われている。また、「音の重なり」の題材が現れ、第5学年および第6学年では、「和音」に関する題材へと発展する。中学校第1学年でも引き続き「和音」は扱われている。また「パートの役割」「声部の役割」という、楽曲全体を捉えさせる題材が現れる。第2学年および第3学年では「音の重なり」や「和音」を扱った題材は消え、楽曲全体を捉えさせる「声部の役割」「曲の構成」のような題材が多くなっている。以上のように、学年が上がると、それまでに学習していない内容の題材が現れ、学習した内容の題材が消える。どの内容も2～3の学年でしか扱われていないため、内容の発展性も2～3学年に限定されていると考えられる。

また、「曲想」に関する題材については、小学校第1学年から第6学年まで一貫して「想像豊かに聴いたり表現したりする」ことが目標となっており、発展性が見られない。中学校では、「曲想を感じ取って歌唱表現を工夫する」となっており、感じ取った曲想を表現に結び付けることを目標としている。

Ⅲ 教育出版『小学音楽 音楽のおくりもの』『中学音楽 音楽のおくりもの』

本章では、教育出版が発行している『小学音楽 音楽のおくりもの』『中学音楽 音楽のおくりもの』を分析する。『小学音楽 音楽のおくりもの』の年間指導計画は、主要部分とオプション部分に分かれている。主要部分は主題による題材によって構成されており、基本となる学習内容が取り上げられている。主要部分の題材のうち、「季節を歌おう」「景色を歌おう」「情景を歌おう」の題材は、任意に扱う題材であると記述されている。オプション部分は、主要部分の各題材を補充するための教材が列挙されており、随時取り上げるものとしている。オプション部分の教材は、教材ごとに取り扱いの方法が示されている。例えば、関連する題材が示されていたり、愛唱歌として扱うことが示されたりしている。また、オプション部分の時間は、行事や地域の連携に使ってもよいことも示されている。しかしながら、取り扱いの時間は教材ごとではなく、学期ごとにまとめて示されている。オプション部分では、題材ではなく教材が示さ

れていることや、取り扱いの時間数を教材ごとに明確に示すことができないことから、オプション部分の教材は分析に含まず、主要部分のみを題材として分析することとする。巻末の資料3に主要部分の題材とオプション部分の教材をまとめた。主要部分の題材のうち、任意に扱う題材については「任意」と示した。オプション部分の教材については「随時」とし、をつけた。

『中学音楽 音楽のおくりもの』では、年間の全ての時間が題材として記述されている。しかし、「3～5時間」のように時間数に範囲をもたせている。巻末の資料4に全題材をまとめた。

以下の表2は、題材数、平均時間数、平均教材数、主要部分の時間数の割合を算出したものである。

表2 『小学音楽 音楽のおくりもの』『中学音楽 音楽のおくりもの』の題材に関する数値

学年		題材数	平均時間数	平均教材数	主要部分の時間数の割合
小学校	第1学年	6	7.17	7.17	63.24%
	第2学年	8	5.63	5.63	64.29%
	第3学年	8	5.63	5.63	75.00%
	第4学年	8	5.13	5.13	68.33%
	第5学年	7	4.71	4.71	66.00%
	第6学年	8	4.13	4.13	66.00%
中学校	第1学年	10	2.70～5.50	2.70～5.50	
	第2学年	9	3.22～4.67	3.22～4.67	
	第3学年	9	2.67～4.44	2.67～4.44	

題材の平均教材数および平均時間数は小学校、中学校ともに減少する傾向がみられる。学年が上がるにつれて学習のまとまりが小さくなっていることがわかる。しかし、小学校第6学年から中学校第1学年にかけては減少しておらず、2つの校種をとおした流れがあるわけではない。小学校については、主要部分の時間数の割合が6～7割程度となっている。オプション部分の時間は、年間指導計画で年間全ての時間数が明確に定められているわけではなく、あいまいさがみられる。一方中学校では、題材の時間数は範囲をもたせて設定されている。小学校と同じく、年間全ての時間数が定められておらず、あいまいさがみられる。

題材の目標についてみると、第1学年の「あつまれおんがくなかま」では9項目も挙げられている。第2学年では4項目挙げられているものが2題材あり、第3学年でも、5項目挙げられている題材が1題材ある。第4学年以降は、1項目または2項目となっている。このように、学年が上がるにつれて題材に含まれる目標は減少しているものの、多くの目標を含む題材は、そのまとまりが不明確となるため好ましいものではないと考えられる。

題材の構成しているまとまりは、小学校第1学年では、「拍」「リズム」が挙げられている。第2学年では「拍」「リズム」が扱われているが、「ふし」「旋律」も新たに現れる。第4学年では「ふしの重なり」が現れるが、依然として「拍子」「ふし」も扱われている。第5学年では「和音」が現れ、「旋律」「リズム」も扱われている。第6学年では、「情景」を表現につなげる題材が多くみられる。中学校第1学年でも、「旋律」「和音」などが扱われており、「曲の形式」など、楽曲全体にかかわる内容が現れる。第2学年および第3学年でも、「声部の役割」などとして楽曲全体にかかわる題材や「旋律」に関する題材が扱われている。

『小学音楽 音楽のおくりもの』『中学音楽 音楽のおくりもの』では、新しい内容の題材が加えられながらも、前に学習した内容の題材が扱われている。題材の内容の発展を意識しているとみることができ

IV おわりに

教育芸術社および教育出版発行の教科書を分析した結果、両社の教科書に共通の特徴がいくつかみられた。まず、学年が上がるにつれて、題材の平均時間数、平均教材数が減少しており、学習のまとまりが縮小している点である。これは、音楽科の年間授業時間数が、学年が上がるにつれて減少するため、題材の平均時間数が減少したものと考えられる。また、年間授業時間数の減少にともなって、扱うことのできる教材数も減少し、題材の平均教材数が減少したと考えられる。また、年間授業時間数が減少しているにもかかわらず、題材数は中学校が小学校より多くなっている。中学校では、年間授業時間数は減少するが、内容を幅広く扱おうとする傾向を示していると考えられる。しかし、1つの題材にかかる時間数は小学校に比べてかなり減少することになるため、学習内容を深く学習することが非常に困難になっているという問題がみられる。

両社の教科書で異なっている部分については、以下のことが挙げられる。まず、教育芸術社は題材の時間数を明確に決定していたのに対し、教育出版は題材の取扱いの有無や範囲をもたせた時間設定によって題材の時間数がいまいであった。行事などの関連を考慮に入れている教育出版の年間指導計画はある意味では、現実的な計画である。しかし、いまいのまま残された時間が、計画する教師によって左右されるという点で、問題である。また、教育芸術社は題材の目標、教材数の点で小学校と中学校の連続性がみられた。それに対して、教育出版は平均時間数および平均教材数が小学校と中学校の間で一貫しておらず、また指導書の記述の方法も異なっているため、小学校と中学校の連続性が希薄になっていると考えられる。

本稿では、平成17年小学校音楽科教科書と平成18年中学校音楽科教科書に限定して分析を行った。今後は、他の年代の教科書を分析し、題材がどのような構成になっているのかを明らかにし、題材構成の在り方について考察を深める必要がある。

参考文献

- ・畑中良輔ほか『中学生の音楽1指導書 研究編』教育芸術社、平成18年。
- ・畑中良輔ほか『中学生の音楽2・3上指導書 研究編』教育芸術社、平成18年。
- ・畑中良輔ほか『中学生の音楽2・3下指導書 研究編』教育芸術社、平成18年。
- ・畑中良輔ほか『小学生のおんがく1指導書 研究編』教育芸術社、平成17年。
- ・畑中良輔ほか『小学生の音楽2指導書 研究編』教育芸術社、平成17年。
- ・畑中良輔ほか『小学生の音楽3指導書 研究編』教育芸術社、平成17年。
- ・畑中良輔ほか『小学生の音楽4指導書 研究編』教育芸術社、平成17年。
- ・畑中良輔ほか『小学生の音楽5指導書 研究編』教育芸術社、平成17年。
- ・畑中良輔ほか『小学生の音楽6指導書 研究編』教育芸術社、平成17年。
- ・教育出版株式会社編集局編『中学音楽 音楽のおくりもの1教師用指導書 解説編』教育出版、平成18年。
- ・教育出版株式会社編集局編『中学音楽 音楽のおくりもの2・3上教師用指導書 解説編』教育出版、平成18年。
- ・教育出版株式会社編集局編『中学音楽 音楽のおくりもの2・3下教師用指導書 解説編』教育出版、平成18年。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 おんがくのおくりもの1教師用指導書 指導編』教育出版、平成17年。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの2教師用指導書 指導編』教育出版、平成17年。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの3教師用指導書 指導編』教育出版、平成17年。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの4教師用指導書 指導編』教育出版、平成17年。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの5教師用指導書 指導編』教育出版、平成17年。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの6教師用指導書 指導編』教育出版、平成17年。

資料1 教育芸術社『小学生の音楽』の題材

学年	題材名	題材の目標	教材	時間
1	うたで子どもたちをつなぐよ	・音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようになる。 ・友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。	うたでさんぽ/ぞうさんのさんぽ/とてとてあいきつ◎みっきい ますう マーチ/ひらいた ひらいた	11
	おんがくにあわせてあそぼう	・歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。 ・拍の流れを感じながら、簡単なリズムを表現することができるようにする。	まねつこあそび◎せいせいのこうじん/ためぎのたいこ/かたつむり じゅんぱんぼん/けんけんぼん	13
	リズムに合わせてあそぼう	・歌ったり身体表現をしたりして、リズムの速いを感じ取ることができるようにする。 ・拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。	◎しんごまのジェンカ/でをたたきまよふん ぶん ぶんことば あそび	9
	いいおとをみつけてあそぼう	・音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に開心をもつようになる。 ・リズム譜に親しみ、拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。	どんぐりさんのおうち/すずばしほし◎みつぼちのほけい おとあそび ひのまる/おちば	9
	よさをわいわいしよう	・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・楽器の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	◎おどる これこ/きさらほし/ほる ぼつ あき ふゆ	8
	みんなであそぼう	・発音や呼吸の仕方に興味をもつて歌ったり、声や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏することができるようにする。	◎かえるの ルンパ/どくりりん ぼんぐるん/いなぬの マーチ/ あいあい	14
	のびのびうたおう	・発音や呼吸の仕方に興味をもつて歌ったり、声や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	そろそろ はるでよ	4
	うたで子どもたちをつなぐよ	・音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようになる。 ・友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。	みんなて 1・2・3◎ ロンドンぼし/こめ むぎ あそびうた/おちや らか/ほい/小犬の ピンゴ/かべんぼ/えがてきよも	10
	ドレミであそぼう	・歌ったり身体表現をしたり、拍の流れを感じ取ったり、音高を身に付けたりすることができるようにする。 ・階名で唱唱や唱唱したり、これをして楽器で演奏したりすることができるようにする。	◎ドレミのたのしみ/あそび/かっこうかえるの かっしょうふっかつ くり	14
	リズムに合わせてあそぼう	・リズム譜に親しみ、拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。 ・拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、身体表現をしたり演奏の仕方を工夫することができるようにする。	◎トルコこうしんきよ/メヌエット/ゆるかきさんご/山の ホルカ/リズムあそび/ピラミッドのうた	12
2	いいおとを見つけてあそぼう	・音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に開心をもつようになる。 ・音色の違いを生かして、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。	虫のこえ◎シンクベア/テッドクロック/音さか/かほちや	8
	よさをわいわいしよう	・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。	夕やこやけ◎いぶえふきと 小犬/小ぎつね	8
	みんなであそぼう	・楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏することができるようにする。	◎森の 音がかり/おさがおかやいて/こまの 二月/本のほ のゆうじん	14
	のびのびうたおう	・発音や呼吸の仕方に興味をもつて歌ったり、声や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	うたえ パンパン/はるがきた	4
	階名にならぼう	・旋律を階名で唱唱したり視奏したりして、楽譜を見て歌うことに慣れるようになる。	童の 小川/ドレミ/歌おう/茶つみ/海風きって	9
	リコーダーに親しもう	リコーダーの音に気を付けて聴いたり、基本的な奏法を身に付けたりすることができるようにする。	◎小鳥のために(さん歌)/小さな花/かり かわ わたねさよなら	9
	いろいろな音のちがいをかんじよう	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	うさぎ◎おかしのおきな まう/使いの 休日/かやうとの合しよ/ バ/エルポルカ/トランペットふの体目	8
	ふしのくちよをかんじよう	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	バードウッチング◎鳥にのって/ふじ川/ねむたいこね◎/ エーデルワイス	10
	曲の気分を感じよう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	おびつこカウボーイ◎ハックルベリー フィン/ゆかいな木ん	8
	音をきき合せて合わせよう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	あの雲のよう◎二人でおどりましよう/バフ	11
3	歌と楽器のひびきを感じよう	・旋律の階名唱唱や視奏に親しみ、声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏することができるようにする。	きょうりゅうとチャチチャ/あけの青い空のように	5
	日本の音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようになる。響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむようになる。	さくらさくら/らんるな木の実/歌のじとんび	8
	いろいろな音のちがいをかんじよう	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	◎花がき音頭/神田ばやし/こきりこぶし/まぼの朝	9
	ふしのくちよを感じよう	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。	もみじ◎ あいあいきつ/ヒチカートホルカ/陽気な船長/あた らしい声/オーラリー	11
	曲の気分を感じよう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	友だちシンドバッド◎ つるぎのまよ/冬の歌	8
	音をきき合せて合わせよう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	バードホッホ◎ きゆう友/空に雲に/おどろく楽しいボーレ チケ/茶色的小びん	11
	生き生きと歌おう	・発音や呼吸の仕方に興味をもつて歌ったり、声や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	歌はひびけ/グッデーグッバイ	5
	ふしの重なり合いを感じよう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができるようにする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	こいのぼり/1つでもあはれ/やさしい風	7
	アジアの音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようになる。	アジアの国々の音楽◎ アリラン/まつり花/おはやしづくり/子も り歌	8
	いろいろなひびきを感じよう	・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律と低音の響きを感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	◎ 笑しきスマイル/白鳥/わり鳥と少年	9
4	重なり合う音の美しさを感じよう	・和音の響きの美しさを感じ取って、聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・和音の響きの変化を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	静かにねむれ/それは地球◎/威風堂々 第1番	9
	曲想を感じ取ろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。	秋にさよなら◎/アイクライネナ/ハムジューク 第3楽章/自分の 気持ちを曲で表そう/夕げき/キリランジロ	8
	日本の音楽を味わおう	・歌詞と旋律のつながりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを感じよう。	◎浜辺の歌/待ちぼうけ/荒城の月/スキーの歌	5
	心をこめて演奏しよう	・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。	夕ぐれ/入られた歌/大空がむかえる朝/朝日をあびて	8
	ふしの重なり合いを味わおう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができるようにする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	思い出のメロデー/おぼろ月夜/ラウレンス・コンチェルト	8
	世界の音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、世界の音楽に親しむようになる。	◎世界の国々の音楽/こげよマイケル/アンデスの祭り/われは 海の子	7
	いろいろなひびきを感じよう	・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・全体の響きを感じ取りながら、楽器の音色を生かして演奏の仕方を工夫することができるようにする。	◎小犬のワルツ/茶色的小びん/ぼんぼり/星空はいつも/風を切って	7
	重なり合う音の美しさを感じよう	・和音の響きの美しさを感じ取って聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・三部合音の響きを感じ取って歌うことができるようにする。	勇気ひとを友にして◎/赤とんぼ/箱根八里 星の世界/ふんふん	8
	曲想を感じ取ろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。	◎木理/日 歩の未来/広い空の下で	7
	日本の音楽を味わおう	・日本の楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを感じよう。	◎ 春の海/越え大空今様	5
心をこめて演奏しよう	・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。	メヌエット/思い出の曲をつくる。/さよなら友 さようなら	8	

資料2 教育芸術社『中学生の音楽』の題材

学年	題材名	題材の目標	教材	時間
1	歌声をつくろう	・新しい仲間と歌う喜びをわかし合い、音楽学習への意欲、態度を育てる。	明日という大空/大輪がくれた季節/歌声セミナー①	4
	イメージをふくらませて聴こう	・ソネットをもちに、曲の雰囲気を感じ取って聴く能力を育てる。	◎私(第1楽章)	2
	旋律と和音のかわりを感じ取ろう	・旋律と和音のかわりを感じ取り、表現を工夫する能力を育てる。	音音や記号を覚えよう!/主人は冷たい土の中に/アルトリコーダー〜Lesson1〜/春	5
	曲の雰囲気を感じ取ろう	・曲の雰囲気を感じ取り、イメージをふくらませながら歌唱表現を工夫する能力を育てる。	歌声セミナー②/未来への飛翔/◎魔王	7
	旋律の重なりを感じて歌おう	・旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫する能力を育てる。	あの鳥のように/朝の風に	2
	歌詞と曲想のかわりを感じ取ろう	・歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する能力を育てる。	カサブ 夢の旅/作曲しよう!/若者たち	4
	日本の音楽に親しもう	・日本の楽器の響きの魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	◎日本の楽器の響き(六段の調)/◎郷土の音楽/箏/和太鼓で楽しもう!	8
	アジアの諸民族の音楽に親しもう	・アジアの諸民族の音楽に親しむ心情を育てる。	◎アジアの諸民族の音楽	2
	心の歌	・歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する能力を育てる。	夏の思い出/赤とんぼ	4
	合唱の喜び	・声部の役割を感じ取り、全体の響きに気をつけて合唱する能力を育てる。 ・校内コンクールや合唱祭への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	ふるさと/心抱きしめて Blue Sky/涙をこえて/Song Is My Soul/マイブラッド/青春の1ページ/Let's Search For Tomorrow	7
2	歌声をみがこう	・新しい仲間と歌う喜びをわかし合い音楽学習への意欲、態度を育てる。 ・親しみやすい音楽に触れ、より広く音楽を楽しもうとする態度を育てる。	夢の世界を/サントルチア/ラヴァースコンチェルト	4
	合唱の響きを楽しもう	・曲の構成を理解して、歌唱表現を工夫する能力を育てる。/アカペラの表現を通して、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。/速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して、表現を工夫する能力を育てる。	心の中心にきらめいて/スカボローフェア/カリンカ	5
	楽器の特徴を生かして表現しよう	・楽器の特徴を生かして即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現したりする能力を育てる。	リズム楽器で楽しもう!/テキーラ/グリーンリースープ」による変奏曲	5
	曲の仕組みを理解して聴こう	・曲の構成を感じ取りながら、曲全体を味わって聴く能力を育てる。	◎交響曲第五番	2
	オペラの名曲を味わおう	・オペラと「声」が生み出す豊かな表現を味わう能力を育てる。	◎アイダ	2
	日本の音楽に親しもう	・日本の伝統芸能の魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	◎文楽/◎歌舞伎◎日本の民謡/「さくら」三重奏	5
	世界の諸民族の音楽に親しもう	・世界の諸民族の音楽に親しむ心情を育てる。	◎世界の諸民族の音楽	1
	心の歌	・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。	浜辺の歌/荒涼の月	4
	合唱の喜び	・声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ・校内コンクールや合唱祭への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	ふるさと/今日は君のBirthday/白いライオン/未来へII/思い出は空に/若い翼は/時の旅人/室の光	7
	3	歌詞の美しさを味わって歌おう	・歌詞の美しさを味わいながら、日本の歌曲を愛好する心情を育てる。	花
歌詞の内容や曲想を味わって歌おう		・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。	懐れソレントへ/夢、遙か/創作詩に旋律を付けよう!	5
合唱の表現を楽しもう		・リズムや和音、形式などの働きを理解して、合唱表現を工夫する能力を育てる。	風の中の青春/ジェリコの戦い/自由への参加/◎合唱の名曲	8
オーケストラの豊かな響きを味わおう		・楽器の音色や音楽の様々な構成要素を聴き取り、曲を味わって聴く能力を育てる。	◎協奏曲の名曲/◎ブルタバ	2
日本の音楽に親しもう		・日本の伝統芸能の魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	◎能/◎雅楽/◎郷土の芸能/秋の風	6
世界の諸民族の音楽に親しもう		・世界の諸民族の音楽に親しむ心情を育てる。	◎世界の諸民族の音楽	1
心の歌		・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。	花の街/早春賦	4
合唱の喜び		・声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ・校内コンクールや合唱祭への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	ふるさと/地球の詩/旅立ちの日に/懐れはいつも/遠い日の歌/大地讃頌/名づけられた葉/卯子ば尊し	7

資料4 教育出版『中学音楽 音楽のおくりもの』の題材

学年	題材名	題材の目標	教材	時間
1	詩のイメージを生かして情景と音楽	歌詞の内容を生かして表現を工夫するとともに、基礎的な歌唱の技能を身に付けさせる。	星空へのぼろろ/今、ここに/朝の光がまぶしい時は	3～5
	曲の特徴を探そう1	登場人物の心情や場面を想像させ、歌唱表現の特徴や伴奏の効果を感じ取る。	魔王/春/Let's Try!音のスケッチー耳をすませよう	3～7
	曲の特徴を探そう2	拍子や速度、調などの違いによる曲の雰囲気の違いを感じ取らせ、表現を工夫させる。	「メリー・ポピンズ」から/Let's Try!音楽の諸要素のはたらき	3～5
	曲の特徴を探そう3	転調による曲の雰囲気の変化を感じ取らせ、譜記号の設定やその効果を意識して表現を工夫させる。	夢の翼/Let's Try!音楽の諸要素のはたらき	3～5
	日本の伝統音楽の魅力	拍子と拍音の響きとの関係を感じ取らせ、曲の形式を生かした表現を工夫させる。	やさしきアニー/スコットランドのつりがね草/赤とんぼ	3～7
	くらしの中の音楽1	雅楽に使われる楽器の響きや奏法、表現の特徴などを背景となる文化や歴史などのかかわりを感じ取らせる。	越天楽/雅楽の楽器	2～4
	くらしの中の音楽2	日本各地の民謡や芸能の特徴を感じ取らせ、祭りやくらしのかかわりを意識しながら鑑賞させる。	日本の民謡と芸能/いきり節	2～4
	生き生きと表現しよう	アジアの音楽と芸能の特徴を感じ取らせ、生活や物語などのかかわりを感じ取らせながら鑑賞させる。	アジアの音楽と芸能/アリラン/草原情歌/Let's Try!声のアンサンブルを楽しもう	2～6
	オーケストラの豊かな表現を味わおう	曲のしくみや譜記号の効果を生かし、曲の雰囲気をとらえて表情豊かに合唱させる。	光の中へ/さよなら/マイ ハラード	3～5
	詩のメッセージを感じ取って	情景の変化を音楽の諸要素の変化とのかかわりを感じ取らせ、オーケストラによる多様な表現を味わわせる。	ブルタバ(モルダウ)/モルダウの旗/Let's Try!音のスケッチー様子を音楽で表そう	3～7
2	絵画と音楽	発声、発音などの基礎的な技能や譜記号を確認させ、歌詞の内容や声部の役割を生かした表現を工夫させる。	生命が羽ばたくとき/ハノリの名前	3～5
	旋律の流れ	音楽表現の特徴を絵画からのイメージとともに感じ取らせ、オーケストラの多彩な響きや表現を味わわせる。	組曲「展覧会の絵」から/組曲「惑星」から	2～4
	声部の役割1	歌謡の言葉と旋律のかかわりを感じ取らせ、譜記号を生かした表現を工夫させる。	夏の思い出/雲の降る街を/荒城の月/底辺の歌	3～5
	声部の役割2	一つの旋律のかかわり合いによる表現のおもしろさに関心をもち、声部の役割を生かした表現を工夫させる。	踊る少女/かえるがそらを/エーデルワイス	3～5
	楽器の響きの違い	フーガの形式による声部のかかわりに関心をもち、パイプオルガンの豊かな響きを味わわせる。	小フーガ短調/交響曲 第5番 ハ短調から第1楽章	2～4
	日本の伝統音楽の魅力	楽器の発音原理を理解させ、多彩な楽器の響きとアンサンブルの表現の豊かさを味わわせる。	楽器とともに生きる/Let's Try!素材の魅力を探ってみよう/Let's Sing!(「谷茶前」にチャレンジ)	3～5
	表情豊かに表現しよう	箏の特徴的な奏法や表現を感じ取らせ、日本の伝統音楽の特徴を感じ取らせる。	六段の調/くらさくら	2～4
	響き合うよこびを味わおう	歌詞の内容からイメージをふくらませ、曲の山場や譜記号を生かした表現を工夫させる。	ぜんぶ/春に/島唄	3～5
	情景を思い浮かべて	主旋律と他の声部の関係を理解させ、声部の役割に応じた表現や全体の響きを意識した表現を工夫させる。	この星のどこかで/エーデルワイス	3～5
	心情を感じ取って	歌詞の内容から情景を豊かに感じ取らせ、旋律のまとまりを生かした表現を工夫させる。	花/早春賦	3～5
3	曲想の変化	心情を感じ取って	四月の風/Growing/Let's Try!音のスケッチー旋律をつくろう/櫻子の表	3～7
	音色と響き1	速度や強弱、転調による曲想の変化を感じ取らせ、それらを生かして表情豊かに独唱させる。	帰れフロントへ	3
	音色と響き2	声部の役割を理解させ、和音の響きやリズムなどの特徴を生かしたアンサンブルを工夫させる。	ライオンは寝ている/So Much in Love	3～5
	世界の声の音楽	曲のしくみや譜記号の効果を理解させ、音色や音域の変化による曲想の変化や楽器の多様な組み合わせによる表現の豊かさを味わわせる。	ボレロ/アランフェス協奏曲/ノヴェンバー ステップス第1番	2～4
	日本の舞台芸術	世界や日本の歌声の魅力、発声の仕方や表現の特徴、文化や風土のかかわりを感じ取らせる。	世界と日本の歌声/ソラーノ節/どげばらま/小さな雲	2～4
	総合芸術の魅力	歌舞伎の舞台構成を理解させるとともに、物語の進行と音楽のかかわりを感じ取らせ、舞台芸術の表現の豊かさを味わわせる。	歌舞伎「勧進帳」/Let's Try!歌舞伎入門	3～5
	感動を生む表現をめざそう	音楽と他の芸術のかかわりを感じ取らせ、物語の進行とともに変化する音楽表現や総合芸術の豊かさを味わわせる。	「アイダ」から第2幕 第2場	2
		豊かなで響きのある声で、曲のしくみや譜記号の意味や効果を生かした表現を工夫させる。	旅立ちの日に/大地讃頌/阿蘇/ぶどう摘み/心の輪	3～5